

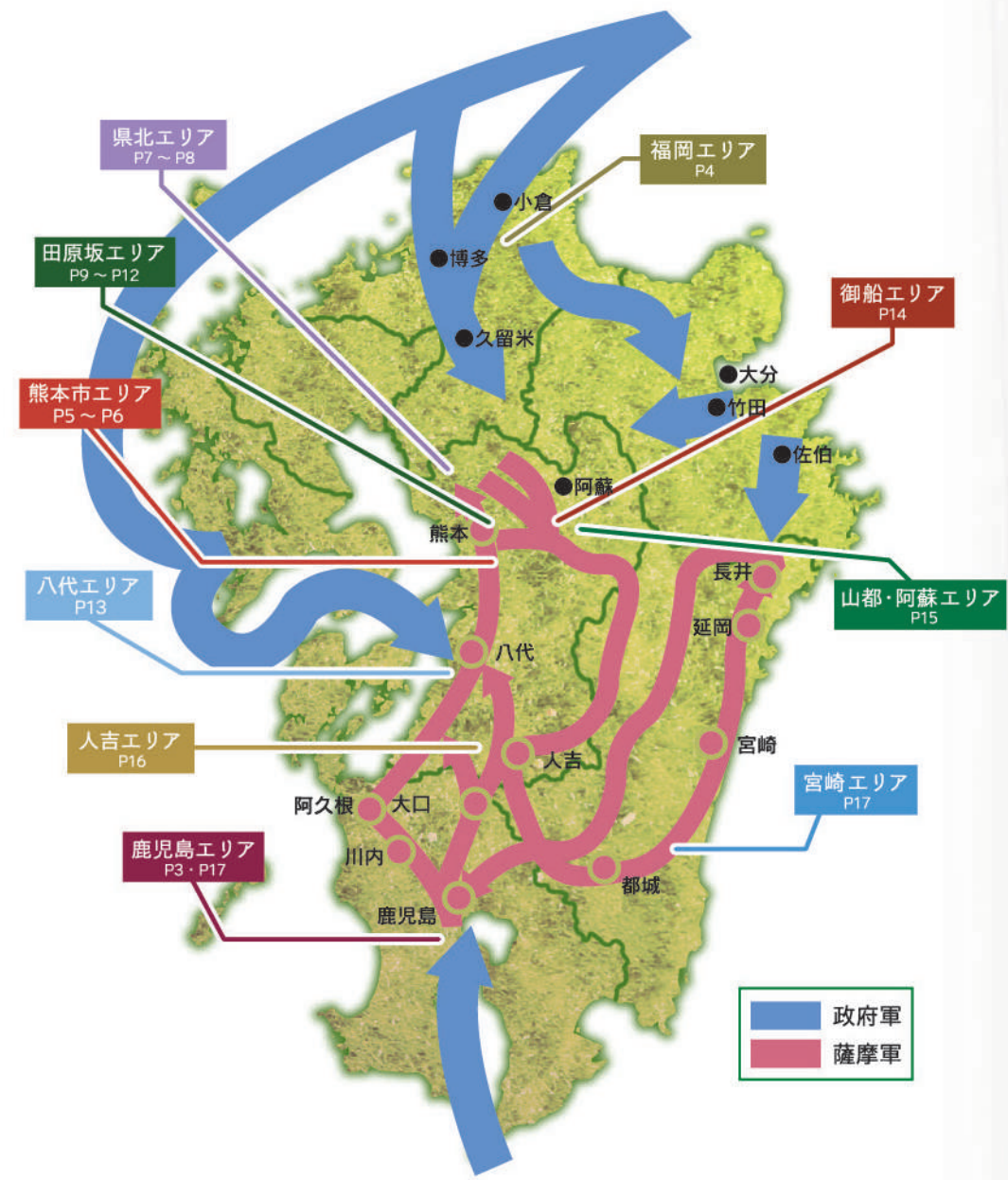
恋する  
西南戦争  
美少年をおいかけて。



西南戦争ゆかりの地と  
カフェめぐり

「鹿児島エリア」「福岡エリア」「熊本市エリア」  
「県北エリア(玉名・南関)」「田原坂エリア」「八代エリア」  
「御船エリア」「山都・阿蘇エリア」「人吉エリア」「宮崎・鹿児島エリア」





志のために、戦った人たちが、  
少し、あこがれる。  
西南戦争と、旅に出てみます。

# 日本最後の内戦「西南戦争」。

その時。  
自分たちで何かを変えよう  
という「志」を持った人が  
集ったといえます。

武士の世から四民平等へ。鎖国から開国へ。急速な時代の変化に不満を抱く士族らが次々と反乱を起こしていた不穏な時期。江戸時代から強大な軍事力で知られた鹿児島が、ついに立ち上がります。きっかけは、明治政府による西郷隆盛暗殺計画の噂でした。激昂し決起をはやる旧薩摩藩士たちの中で西郷は、最後まで沈黙を保ったと伝わります。もしかして、負け戦とわかっていた？

それでも、部下たちの意志を貫かせるためなら命など捨ててもいい、そう考えて戦いを決意したのかもしれない。  
そんな西郷にも、薩摩軍が熊本を越えることさえできなかったことは想定外だったのではないのでしょうか。その理由は、加藤清正が築いた熊本城が約三百年近い時を経て鉄壁の守りを見せたことと、清正が戦いを想定してつくったとされる田原坂です。熊本は激戦地となり、志を貫いた多くの命が散りました。

信念に命をかけた薩摩軍も、国に逆らう薩摩軍を敵として戦った政府軍も、日本の安泰と繁栄を願う気持ちは同じだったはず。信じた道を歩き通した男たちの軌跡をたどれば、切なさ、あこがれにも似た思いが湧きあがります。





# 西南戦争が 起こるまで

**新政府重職を辞した  
西郷隆盛**

明治維新で活躍し、新政府樹立後は参議と陸軍大将を兼務、新しい国づくりに情熱を燃やしていた西郷隆盛が、職を辞して鹿児島へ帰る理由となったのが「征韓論」です。当時の朝鮮に対する外交策として、自分が遺韓大使となり朝

鮮へ行くという案が受け入れられなかったことが原因と伝わります。これは、自分の意見が却下されたからという単純な理由というより、意見が対立する政敵を根回しや小細工で追い落とそうとする政治のやり方に西郷は我慢がならなかったからといわれます。西郷に従い、数人の参議のほか明治政府の重職にあった多くの鹿児島出身の軍人

や官僚も辞職。この出来事が明治六年政変と呼ばれます。

**鹿児島は江戸時代から脅威の存在**

鹿児島に帰った西郷は、士族出身の若者を教育する私学校を創立。この私学校が次第に県政の主力となり、鹿児島はまた士族中心の社

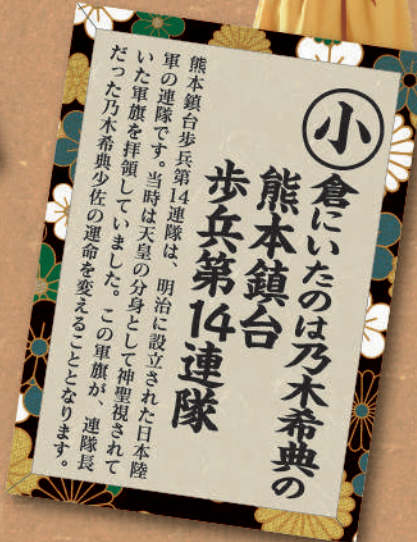
会を築きつつありました。鹿児島は江戸時代にも、その強大さゆえに脅威とみなされた存在です。一国一城令が出されても熊本に八代城が残されたのは、鹿児島に対するけん制が目的だったといわれるほど。西南戦争勃発のきっかけとなった、鹿児島にあった弾薬製造設備と弾薬を政府が秘密裏に運び出したことと西郷隆盛暗殺のうわ

さも、鹿児島島の決起を恐れたゆえの明治政府の行動でした。政府が運び出そうとしていた弾薬を士族らが奪うことまでは予期していませんでした。西郷ですが、士族らを責めることなく彼らの意志を尊重。最後は、「おいとんの命、おはんにあげよう」と、決起を決意したと伝わります。

福岡エリア 1877年2月18日

## 乃木少佐、熊本へ…

鹿児島決起の報はすでに政府の知るところ。熊本城への援軍の命を受けたのは乃木少佐率いる熊本鎮台歩兵第14連隊でした。



神風連の変や萩の乱も不平士族の反乱。明治政府による武士の身分の廃止なんて、到底受け入れられなかったんだね。



**BEAR FRUITS**

店頭に行列が出来るほど大人気のスーパー焼きカレー。中に入っている野菜と卵、こんがり焼かれたチーズの相性が絶妙なバランスで癖になる! (予約は受け付けておりません)

福岡県北九州市門司区西海岸1-4-7 門司港センタービル1F  
TEL 093-321-3729 金・土・祝日前 11:00~22:00(LO21:30) 日~木 11:00~21:00(LO20:30)

### 小倉城

熊本城を救う命を受けた乃木希典少佐率いる熊本鎮台歩兵第14連隊が駐在していたのが小倉城です。初代熊本藩主細川忠利の父・忠興が造営した唐造りの天守閣で知られています。



福岡県北九州市小倉北区城内2-1 TEL 093-561-1210

### 福岡市博物館

明治10年3月、薩摩軍に呼応し福岡でも旧福岡藩士らが決起しました。福岡の変(乱)と呼ばれるこの事件を含め、福岡の明治維新を学ぶことができます。

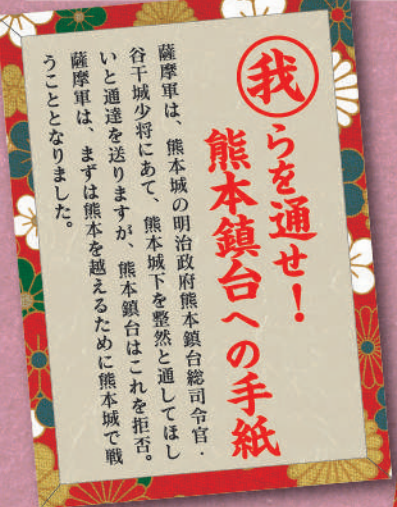
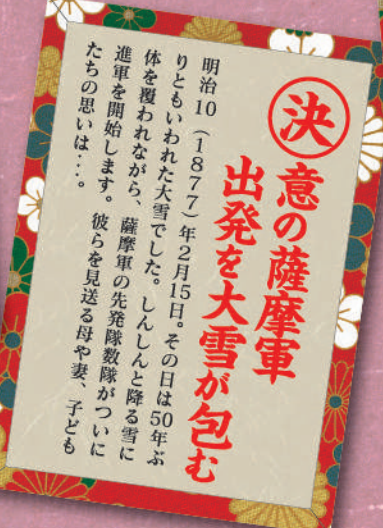
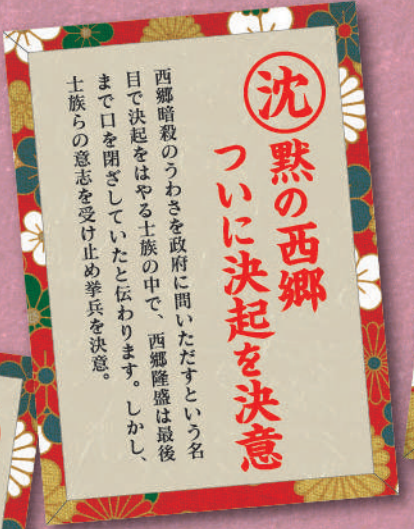
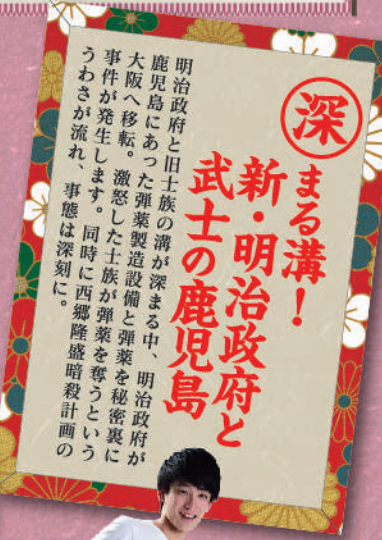


福岡県福岡市早良区百道浜3-1-1 TEL 092-845-5011

鹿児島エリア 1877年2月15日~17日

## 「責任はわたしがとる。」

運命の2月15~17日、薩摩の先発隊がついに旅立つ!



### NOEL

右写真のメニュー名は「ビーフシチュー」です。他に日替わりランチやバスタ、カレーがあります。ケーキや飲み物も取り揃えています。ギフトショップを併設しているので、お土産等も見つけてみては。

鹿児島県鹿児島市城山町2-11 ドルチェヴィータ1F  
TEL 099-295-3662 金・土・日 11:00~19:00 (月・火・水) 11:00~17:30



### hana cafe

市立美術館の1階にあるカフェ。1000円以内で楽しめるセットメニューの他に、展覧会や季節に合わせたケーキメニューでほっと一息。テイクアウトもできます。

鹿児島県鹿児島市城山町4-36 鹿児島市立美術館内1F  
TEL 099-224-3400 10:00~18:00(LO17:30)



### 私学校跡

西郷隆盛が士族のために設立した「私学校」の跡地です。石垣には、西南戦争において政府軍に受けたすさまじい砲撃の跡が残っています。



鹿児島県鹿児島市城山町

### 薩摩本営跡の碑

西南戦争にて薩摩軍が本営を置いた場所。当時この場所で時報の代わりに大砲が使われていたため、別名「ドン広場」とも呼ばれています。



鹿児島県鹿児島市城山町

### 鹿児島城跡

江戸時代、島津氏によって建てられた城。焼失して形は残っていませんが、その立派な石垣や広い敷地から往時の堂々たる姿が浮かびます。



鹿児島県鹿児島市城山町7



# 熊本城 籠城作戦

薩摩軍との徹底抗戦が決まり、熊本鎮台総司令官・谷干城は、強大な薩摩軍に対し籠城作戦を決意します。

**号砲3発!**  
熊本城の門が閉じられた

2月18日、熊本鎮台は薩摩軍将校らの家族も熊本城内に入れ、号砲3発とともに熊本城の城門を閉鎖。熊本県庁からは、熊本市中に住む老人や子どもにも避難指示が発令されました。

**謎の炎上!**  
熊本城が火に包まれる

2月19日正午前、臨戦態勢を整えた熊本城で火事が発生。熊本城天守閣と本丸御殿が全焼しました。失火や薩摩軍による放火説のほか、熊本鎮台が戦いへの士気を高めるために自ら火をつけたいという説もあり、真実は今も謎。

**激戦の火ぶたは切って落とされた!**

薩摩軍による熊本城総攻撃が始まったのは2月22日早朝です。熊本鎮台兵は城内から砲撃して応戦し、熊本城周辺はたちまち激戦地になりました。西側からの薩摩軍の射撃は正確で、多くの政府軍兵が銃弾に倒れました。

**海運の町・川尻に薩摩のサムライ**

鹿耳島を出発した薩摩軍のうち、2隊が2月20日に川尻に到着。川尻の町は約1万3000人の薩摩軍兵士であふれかえったと伝わります。ここで決定しました。まずは全軍で熊本城を攻撃することが決まりました。

## 想定外! 堅固すぎた熊本城

戦国時代の名将・加藤清正が造った熊本城は、徹底した実戦向けの城でした。清正が築いた戦国の要塞とも言える熊本城の堅固さに薩摩軍は攻めあぐねます。籠城に備え、城の壁や畳に干したかんじょうや芋ツルを織り込み、銀杏や梅など実がなる木をたくさん植え、井戸の数は120以上。清正が自ら植えた大銀杏の木もあり、清正は息を引き取る際、「この銀杏の木が天守閣と同じ高さになった時、異変が起こるであろう」と言ったと伝わります。270年後、西南戦争が勃発。籠城した政府軍兵らは、約3千数百人が50余日間を耐え抜きました。後年、西郷隆盛が「政府軍に負けたのではない。清正公に負けたのだ」と語ったという話が伝わったのも、うなずける話なのです。

清正手植えの大銀杏も西南戦争で焼失。今の木はその後芽吹いたものだった!

**昨日の敵は、今日の味方**

籠城する熊本鎮台の援軍として駆けつけた政府軍を率いたのは会津藩士として戊辰戦争で戦った山川浩。その時、敵味方で戦った谷干城の推薦で、陸軍に入隊したといわれます。その山川が谷干城を救ったのですから、運命は不思議です。山川は「会津の名誉回復のため」と奮戦したのです。

**どうする? 旧熊本藩士**  
ついに彼らも!

旧熊本藩士も立ち上がります。池田吉十郎を大隊長とした「熊本隊」のほか、「熊本学校」を設立した自由民権運動家の宮崎八郎のもと、「熊本協同隊」も結成され、薩摩軍に参加することとなりました。

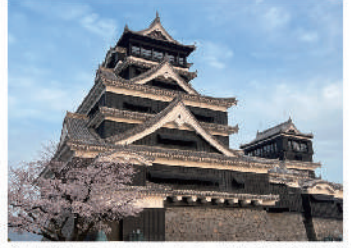
**手ごわい熊本城 作戦を変えよ!**

2日間の攻撃で熊本城を落とせなかった薩摩軍は、一部を熊本城に残し、残りを北上させ、南下して政府軍を迎え撃つ作戦に変更。北で政府軍を押しとどめている間に熊本城の食糧が尽き、降伏することを狙ったといわれます。

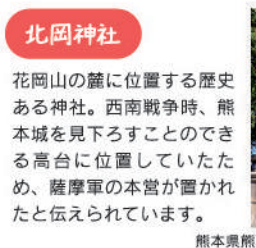
**北方で始まった陣地争奪戦!**

南下する政府軍と迎え撃つ薩摩軍が激突したのが、熊本市北区植木町や玉名市です。豊前街道や占拠し戦いを優位にした両軍が争奪戦を繰り広げたことが、激戦地となった理由です。

籠城で大変なのは、やっぱり食べ物。備蓄の米は1ヶ月分以上ありましたが、何しろ1日にお米20石(約620kg、つまり10俵以上!)を消費するほどの人がいたのです。



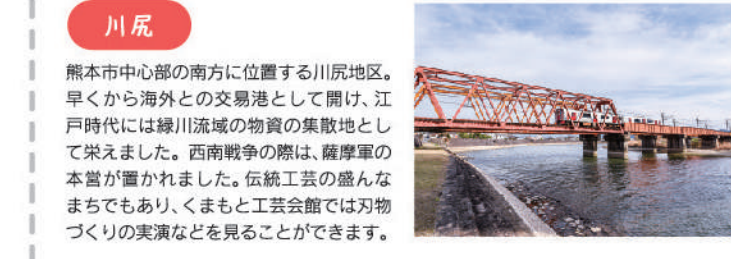
**熊本城**  
日本三名城に名を連ねる肥後の名城。戦国武将・加藤清正により、1601年から7年の歳月をかけて築城されました。西南戦争においては、政府軍が籠城戦を遂行し50余日を耐え抜きました。熊本地震により甚大な被害を受けましたが、復興に向けて歩みを進めています。



**北岡神社**  
花岡山の麓に位置する歴史ある神社。西南戦争時、熊本城を見下ろすことのできる高台に位置していたため、薩摩軍の本営が置かれたと伝えられています。



**花岡山**  
県内有数の夜景スポットとして有名な花岡山からは熊本市街の夜景が一望できます。西南戦争にて、薩摩軍が熊本城砲撃のため、この地に大砲を引き上げ城を砲撃しました。



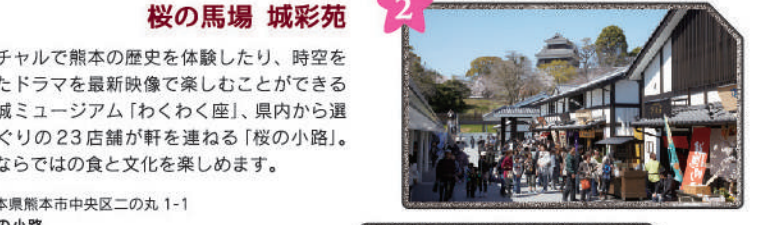
**川尻**  
熊本市中心部の南方に位置する川尻地区。早くから海外との交易港として開け、江戸時代には緑川流域の物資の集散地として栄えました。西南戦争の際には、薩摩軍の本営が置かれました。伝統工芸の盛んなまちでもあり、くまもと工芸会館では刃物づくりの実演などを見ることができます。



**長崎次郎喫茶室**  
創業150年を誇る老舗書店の2階にある喫茶室。大正時代の面影を残すレトロな店内では種類豊富なコーヒーや喫茶メニューが楽しめます。



**珈琲回廊**  
築120年の町屋をリノベーションした珈琲豆屋。世界各国の豆を取り扱っており、注文を受けてその場で生豆から焙煎しています。奥には喫茶スペースを配置しており、心地いい町屋の空間を体験できます。



**桜の馬場 城彩苑**  
バーチャルで熊本の歴史を体験したり、時空を超えたドラマを最新映像で楽しむことができる熊本城ミュージアム「わくわく座」、県内から選りすぐりの23店舗が軒を連ねる「桜の小路」。熊本ならではの食と文化を楽しめます。



**古町の町並み**  
ルーツビュアリイ  
明治初期の古民家を活かし、未来へのライフスタイルを提案しています。人にも環境にも優しい栽培方法で育てた野菜やお米、飼料や飼育方法にもこだわったお肉・卵などを取り扱っています。



# 戦いの舞台、北へ

熊本城を救うべくまず熊本に乗り込んだのは、歩兵第14連隊。ここから両軍が一步も引かぬ戦いが始まります。

## 奪 われた軍旗

### 乃木少佐屈辱を忘れず

乃木希典率いる歩兵第14連隊が、薩摩軍と開戦したのは2月22日、現在の熊本市北区植木町の向坂付近です。ここで、大切な軍旗を薩摩軍に奪われるという事件が起こりました。乃木少佐は死ぬまでこれを悔いたと伝わります。



## 政府軍、吉松少佐、連隊長を守り命を落とす

2月23日、木葉山を守る政府軍の吉松秀次少佐は援軍を要請。乃木少佐は第14連隊に余力がないと考える自分が指揮をとうとうとしますが、連隊長である乃木少佐が殺されることを恐れた吉松少佐はこれを断り、薩摩軍に突撃し落命しました。

西南戦争の時に少佐だった乃木希典は、最後には陸軍大将になり、「乃木將軍」とも呼ばれているんだって。若い頃は遊んでいた時期もあったけど、日清戦争や日露戦争にも従軍し、誇り高き軍人だったと伝わるよ。

## 美少年・高田露、登場!

「熊本協同隊」として参戦した高田露は「美少年」のモデルの一人といわれ、女性のように小柄でキレイだったそう。土地勘があり、植木方面へ偵察に向かう薩摩軍を案内。そこで出くわした政府軍との攻防戦で薩摩軍は勝利をおさめました。



宮崎八郎とともに熊本協同隊をつくったんだ。薩摩軍が敗れて捕えられたけど、出獄を許され、世のため人のために生きてくために衆議院議員も務めました。

## 援軍到着!

### 勢いを取り戻した政府軍

勢いを取り戻した政府軍は、25日に現在の玉名市高瀬付近で戦いを繰り広げます。一度は薩摩軍に押されますが、翌26日には押し返し、数日前に撤退した木葉付近まで兵を進めました。

熊本隊はその決意を、刀で削った木肌に記したんだって

西郷隆盛は、20歳近く年が離れた弟・小兵衛をとってもかわいがっていたんだって

## 弟死す!

### 無言で見つめる西郷隆盛

高瀬には薩摩軍主力を向かわせ菊池川を挟んで政府軍と戦いました。ここで、薩摩軍の小隊長として参戦していた西郷隆盛の末弟・小兵衛が撃たれて戦死。小兵衛の遺体を前に、西郷隆盛は無言を責めたといわれています。

## 薩摩に加勢!

### 旧熊本藩士の熊本隊

高瀬で政府軍と戦った中には、旧熊本藩士・池辺吉十郎率いる「熊本隊」も。吉次峠に布陣した一番小隊長の佐々木は、「今こそ」を政府軍に取られたら、守って死のう」と決意したといわれています。

## 日本赤十字はここから始まった

元老院議員だった佐野常民は、西南戦争による両軍の多数の死者、負傷者を見て、明治6年の欧州視察で見た赤十字活動を日本にも取り入れようと考えました。しかし、敵味方の区別なく救護するという考え方が当時は受け入れられず、政府によってその案は却下されてしまいました。あきらめきれない佐野は、征討総督の有栖川宮熈仁親王に直訴し、すぐに許可されることとなりました。博愛社の許可がおりたのは、当時古城現第一高校敷地)にあった「熊本洋学校教師ジエーンズ邸」また、佐野常民の故郷・佐賀市川副町には、常民の偉業をしのぶ佐野常民記念館があります。

## 乃木少佐の説得

### およばず政府軍が撤退

高瀬での戦いを優勢に進め、乃木少佐率いる政府軍が木葉付近まで進軍した時一部は田原坂に到達していましたが、ところが後方部隊から撤退の指示。この撤退があれば、のちに田原坂が激戦地となることはなかったといわれています。



「今撤退すれば、薩摩軍に田原坂をとられる」そんな乃木少佐の説得は聞き入れられなかったんだ...

## 激突する両軍

### そして田原坂へ...

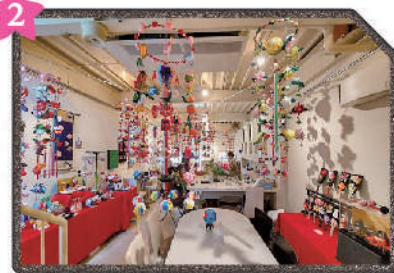
3月3日、兵を増強した両軍が木葉で激突。政府軍の射撃に押された薩摩軍は撤退し政府軍が木葉を占拠しましたが、政府軍も100人を超える死者を出す激しい戦いとなりました。



### 玉名温泉 (観光旅館協同組合)

かつて『立願寺温泉』と呼ばれた玉名温泉は、なんと1300年ものあいだ湧き続け、今に至るまで人々に愛されてきました。すべりのよい無色透明のお湯は、リウマチや神経痛に効能アリ。弱アルカリ性のラジウム温泉で体の芯までほっかほか。

住所 熊本県玉名市高瀬290-1  
TEL 0968-74-2961 営業 8:30 ~ 17:15



### Cafe Gallery Mocha

広々とした木造2階建ての店内は日当たりも良く、まるで小鳥になったよう。おしゃれなインテリアに囲まれながら味わう、淹れたてのコーヒーでゆったりとした時間が流れます。

住所 熊本県玉名市高瀬 255-2  
TEL 0968-73-6558 営業 11:00 ~ 17:00



### 豊前街道南関御茶屋跡

藩主の参勤交代や領内巡視の際に休憩・宿泊用の施設として用いられた南関御茶屋は、江戸に参入する途中の篤姫が休憩した記録もあります。2003年に国史跡に指定され、保存修復工事を経て現在の姿に至ります。抹茶や菓子をいただくことができます。

住所 熊本県玉名郡南関町関町1141-2  
TEL 0968-53-0859 営業 9:30 ~ 16:30 (火曜定休)



### いきいき村

南関町の特産品・物産品をはじめ、野菜、鮮魚、デザート、パンなどさまざまな食材が揃っています。一番人気はお土産コーナーの「南関あげ」。煮込み料理にぴったりの南関あげは、常温でもなんと3ヶ月の長期保存が可能。

住所 熊本県玉名郡南関町大字関町419-1  
TEL 0968-53-0388 営業 9:00 ~ 18:00

### 高瀬官軍墓地

もとは、埋葬された政府軍兵の墓石が並んでいましたが、昭和30年代の終わりに改装されて墓石が撤去され、合記塔が建つ墓地となりました。塔の左右に、戦死者の名前を刻んだ碑があります。



熊本県玉名市高瀬

### 西郷小兵衛戦死の碑

菊池川に架かる高瀬大橋の下流にある、支流・鬻根木川沿いにあります。西郷小兵衛は隆盛の末弟。明治10年2月27日、薩摩軍一番隊一番小隊長としてこの地で戦い銃弾に倒れました。



熊本県玉名市永徳寺

### 城ノ原官軍墓地

豊前街道を通り江戸へ上る篤姫も立ち寄った南関御茶屋跡の裏山にあります。御茶屋の庭園を抜けて細い道を登っていくと、高瀬や木葉での戦いで命を落した政府軍兵士77柱が静かな眠りについています。



熊本県玉名郡南関町関町1063 TEL 0968-57-8507

### 肥猪町官軍墓地

肥猪町は豊前街道の山鹿と南関の間にあり、休憩地として栄えた町です。肥猪町官軍墓地は比較的大きな墓地で、おもに、現在の山鹿市鍋田周辺の戦いで亡くなった180柱の政府軍兵が埋葬されています。



熊本県玉名郡南関町肥猪町216 TEL 0968-57-8507



# 田原坂 西南戦争最大の激戦地に

いよいよ、西南戦争最大の激戦地「田原坂」に戦いの舞台が移ります。田原坂一帯が激戦地となった理由は、田原坂が、大砲を率いた軍隊が通ることができる唯一の陸路であり、熊本城を救いに行きたい政府軍と、東京へ進軍したい薩摩軍の両軍にとって重要だったこと。そして、周囲に半高山や横平山など周囲を見渡しやすい小高い山が連なっており、戦況を有利にするために山の頂上を占拠したい両軍の陣地争奪戦が繰り広げられたことにあります。

**い**よいよ田原坂 一進一退の 攻防開始!

3月4日、木葉の占拠にのつた政府軍が田原坂へ進軍。この日から17日間続く田原坂の戦いの火ぶたが切られてしまいました。すでに田原坂の坂上に塁を築いていた薩摩軍は、進んでくる政府軍を上から狙っていました。

**実**は田原坂も 加藤清正作!?

実は田原坂も加藤清正が戦いを想定して造った道。麓から頂上までの曲がりくねった坂道は、一ノ坂、二ノ坂、三ノ坂と続きます。当時、砲隊が通れるのはこの道だけで、福岡方面からの政府軍の救援隊はこの田原坂を越えないと熊本へは進めませんでした。

**密**使、 谷村計介の活躍

政府軍本営に連絡をとるため、密使として熊本城を抜け出した谷村は、途中熊本隊につかまってしまった。脱走したと偽り、数日、薩摩軍に身を任せていましたが、隙をみて逃げ出し、見事に任務を完了しました。

**越**すに越されぬ 吉次峠

田原坂での戦い前から、薩摩軍に味方していた熊本の藩士や友房率いる「熊本隊」が死守していたのが吉次峠。ここを重視したのは、軍隊が通ることができるといつの道だったからか。

**近**づくことさえ 恐れられた地獄

熊本隊に薩摩軍の援軍も加わり、3月3日、吉次峠で戦いが始まります。ここで飛び交った銃弾は10万発以上、政府軍は200名以上の死者を出しました。政府軍兵士はここを地獄と呼び、近づくとさえ恐れられたといわれています。

**涙**の西郷! マントをねらって 銃弾が!

吉次峠での壮絶な戦いで、薩摩軍幹部の篠原国幹が戦死。西郷は、現在の熊本市西区二本木に置かれていた涙を流したと伝えられます。大粒の銃弾がねらって

赤いマントが ひるがえる! 西郷腹心の篠原国幹

篠原国幹は明治政府で陸軍少将となりましたが、西郷について鹿児島へ帰郷してました。吉次峠の戦いで彼は、隊長である自分がマントを着て太刀を持った勇敢な姿を見せることで、薩摩軍兵士を奮い立たせようとしています。その姿を認めたのは、政府軍の江田少佐。彼は、陸軍少将だったころの篠原を知っており、政府軍射撃兵に、「マントを来た人物を撃て」と命じ、その銃弾に篠原は倒れます。江田少佐も、復讐に燃える薩摩軍兵士に狙撃され戦死を遂げました。

吉次峠にある 篠原国幹戦死の地の石碑は 地元の人に大切に 守られています。

**抜**刀隊も壮絶な 戦いに挑む

主に士族で形成されていた薩摩軍は、抜刀攻撃を主としており、その薩摩軍に対抗するため、政府軍も士族出身者が多くいた警視庁の巡査100名からなる警視抜刀隊を組織し、田原坂の争奪戦が展開されました。

吉次峠は、半高山にある峠。ここでもたくさんの人が命を落としたよ



**Kitchen 明カリ**

店の外にはどかに広がる田園風景。軽い食事からパーティーコースやサプライズまで、あたたかいハートで笑顔あふれる大満足なメニューが、あなたの特別な一日を彩ります。

〒熊本県熊本市北区榑木町龜甲 259-4  
TEL 096-272-2105 営業 11:30～16:00  
18:00～21:00 (月曜定休)



**イタリアンスタイル タオカフェ**

タオカフェの魅力は自家焙煎こだわった珈琲と絶品ケーキの数々。リンゴ半分がゴロッと入ったアップルパイをはじめ、ピッツアや日替わりパスタなど、イタリアンスタイルなおもてなしを堪能できるお店です。

〒熊本県熊本市北区榑木町岩野 266-5  
TEL 096-272-1745 営業 11:00～21:00 (土)～23:00



**観光農園 吉次園**

雄大な自然に囲まれたこの農園で育つ果物は、可能な限り農薬の使用を抑えた自然と体に優しい果実。肥沃な大地とスタッフのまごころが生んだ熊本の恵みに、ぜひ出逢いに来てください。

〒熊本県熊本市北区榑木町木留 1033-1  
TEL 096-273-2544 営業 9:00～17:00 (直売店)  
フルーツ狩りの時間は季節によって異なります。

**正念寺**

佐野常民の働きにより設立された博愛社が、西南戦争の負傷者を救済した場所の一つ。日本赤十字社の発祥地の一つと言えます。

熊本県玉名郡玉東町木葉 750 TEL 0968-85-2251



**七本柿木台場薩摩軍墓地**

3月初旬から4月中旬まで続いた田原坂周辺の戦いで、木留・七本付近で戦死した薩摩軍や熊本隊の兵士311名が埋葬されています。

熊本県熊本市北区榑木町豊岡



**半高山・吉次峠戦跡**

田原坂や横平山とともに、両軍にとって重要な位置にあった半高山。現在は公園として整備されています。半高山と隣り合う位置にある吉次峠でも多くの死者を出し、政府軍に「地獄峠」と恐れられました。

熊本県玉名郡玉東町原倉



**豊岡の眼鏡橋**

麓の豊岡の眼鏡橋からの標高差は僅か80mの田原坂。一ノ坂、二ノ坂、三ノ坂と頂まで曲がりくねった道が唯一大砲が通れる道幅があり、政府軍はこの道を越えないと熊本へ進めません。薩摩軍にとっては生死を決する道でもありました。

熊本県熊本市北区榑木町豊岡



**榑木温泉 (榑木温泉観光旅館組合)**

熊本市の「奥座敷」榑木町にある源泉掛け流しの天然温泉。美肌の湯ともいわれるほど、お肌がしっとりなることで知られています。10軒あまりの温泉宿が自慢の料理など趣向をこらしたおもてなしをしてくれます。(左・旅館 いるは、右・旅館 桐乃湯)

〒熊本県熊本市北区榑木町米塚 124-1  
TEL 096-274-6830 営業 9:00～17:00





▲田原坂激戦の図



**イケメンぞろい？  
美少年のモデルたち**

民謡「田原坂」は、西南戦争を題材にしています。「雨は降る降るしんばは濡れる越すに越されぬ田原坂 めてに血刀ゆんでに手綱 馬上ゆたかな美少年」という歌い出しが有名。この美少年にはモデルがあるという説があり、有力候補が薩摩軍兵士の東野孝之丞。西南戦争で15歳で戦死し、その墓は現在の植木町萩迫にあります。既に紹介した「もう一人の美少年」高田露は当時24歳、熊本隊の高橋長次はなんと15歳！人吉隊の三宅伝八郎は20歳でした。村田岩熊19歳も美少年だったとか。

また、西南戦争では、戦いが始まってから、間をおかずに錦絵が出版されたことも知られています。特に薩摩軍兵士の姿を、庶民受けするように想像を交えて描かれています。

**勇猛果敢！  
警視抜刀隊**

士族中心の薩摩軍兵士に対し、政府軍兵士には徴兵された平民が多く存在し、白兵戦においては政府軍が不利でした。そこで士族出身者が多かった警視隊の中から剣術に優れた人材を集めて結成されたのが警視抜刀隊です。横平山の戦いでは、最初にさし向けられていた警視抜刀隊が頂上の薩摩軍からの猛烈な攻撃を受け攻めあぐねていたところ、南関から駆け付けた警視抜刀隊の応援50名の果敢な切りこみで決着がついたと伝わります。後年、抜刀隊の活躍を描いた東京大学教授の詩にフランス人シャルル・ルーが作曲した軍歌「抜刀隊」も作られました。



**鬼 気迫る白兵戦  
横平山の戦い**

田原坂を見渡せる位置にあった横平山も、田原坂を練り広げようとする重要な場所であり、両軍が争奪戦の主力となったのは、横平山の薩摩軍が横平山を奪った。この警視抜刀隊50名でした。

銃にもひるまない  
武士の心意気が  
かっこいい！

**歴 史の皮肉  
戊辰の恨みを  
西南戦争で晴らす**

警視抜刀隊には、戊辰戦争で、当時は新政府軍だった薩摩藩と戦った会津藩出身者が多かったため、横平山の戦いをはじめとする警視抜刀隊の活躍には「戊辰の恨みを晴らす」という信念があったとも伝えられます。

**西 南戦争の  
三大激戦の一つ  
横平山**

警視抜刀隊の活躍で政府軍に落ちた横平山の戦いは、西南戦争三大激戦の一つとされます。横平山を奪った政府軍が田原坂を横から攻撃できるよになったことが、田原坂の戦いに終止符を打つことになったといわれます。

**大 雨の朝 田原坂  
最後の戦い**

3月20日は朝から大雨でした。政府軍は、雨と濃霧で見通しが悪いことを利用し、警視抜刀隊の活躍で占拠した横平山に分散していた隊を集結。田原坂を守る薩摩軍に対し、左右と中央の三方向から一気に攻撃をしかけました。

**大 混乱の薩摩軍  
ついに総崩れに**

田原坂を守っていた薩摩軍は、大雨で警戒を怠っていました。攻撃をしかけた政府軍は、田原坂頂上へと追い込まれた薩摩軍の背後に回り込み、これによって薩摩軍は総崩れとなり、17日間にわたる田原坂の激戦は終わりを告げました。

**全 国の不平士族を  
黙らせた  
田原坂の終末**

田原坂を破った政府軍には八代からも援軍が到着し、熊本城を守る熊本鎮台の兵を合わせ、約3万の兵力が熊本に集結しました。熊本で薩摩軍が敗れたことが、全国に不平士族の決起を断念させたといわれます。

**ひ っそりと熊本を  
西郷隆盛**

その後も薩摩軍は必死に抵抗し、政府軍が熊本城に入ることができたのは、田原坂の戦いが終結した1カ月後、4月14日のことでした。翌15日、熊本の本木本木薩摩軍の兵士に守られていた西郷隆盛は、夜の闇に紛れ、薩摩軍の兵士に守られて熊本を後にしました。



腹心の部下や弟を  
失った西郷隆盛の  
姿が寂しいよ...

**熊本市田原坂西南戦争資料館**

西南戦争の跡を巡るなら、まずココへ！  
戦場の暮らしと「人の姿」が、今、よみがえりました



静かな緑につつまれた田原坂公園は、西南戦争最大の激戦地でした。ここで17昼夜にわたって繰り広げられた激戦が、その後の西南戦争の行方を決定づけたのです。現在、田原坂公園と田原坂の坂道は国史跡に指定されています。資料館では、西南戦争がなぜおこったのか、そのいきさつや時代背景、戦いの様子などを通して近代日本の夜明けを知ることができます。

開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日	12月29日～翌年1月3日
入館料	一般(高校生以上) 個人 300円、団体 240円 小・中学生 個人 100円、団体 80円
駐車場	有(220台)

※団体は20名以上



幕末から西南戦争へといった時代背景をわかりやすく伝えるカラージュ壁画の前で、案内するボランティアガイド(ガイドについては21ページ参照)

**四斤山砲のレプリカ**

政府軍、薩摩軍ともに利用した四斤山砲のレプリカ。分解して馬2頭で運搬できます。



**西南戦争時の食事**

西南戦争当時の薩摩軍の食事はおにぎりや漬物でした。



**戦争と人々の暮らしを描いたジオラマ**

かけた茶碗などがリアルに戦争の爪痕を伝えます。



**軍服レプリカ**

政府軍の軍服を再現したレプリカ。薩摩軍は度重なる敗走で軍服も不足したといわれています。



**◆ 交通案内 ◆**

- 九州自動車道植木ICより …… 約8Km
- JR鹿児島本線木葉駅より …… タクシー約10分
- JR鹿児島本線植木駅より …… タクシー約15分
- JR鹿児島本線田原坂駅より …… 徒歩約30分
- 産交バス 鈴麦バス停下車 …… 徒歩約20分
- 産交バス 七本バス停下車 …… 徒歩約20分
- 産交バス 植木バス停下車 …… タクシー約10分

熊本市田原坂西南戦争資料館  
熊本県熊本市北区植木町豊岡858番地1  
TEL:096-272-4982



1877年3月18日

八代エリア

# 政府軍、ついに八代に上陸

ついに、薩摩軍を背後から衝く政府軍の援軍が八代から上陸を果たします。

**軍艦を従えた 政府軍の力**

政府軍は軍艦からの援護砲撃の中、日奈久など数カ所に上陸。八代は熊本城を攻撃する薩摩軍の糧糧供給基地だったため、日奈久を死守したい薩摩軍がこもこも戦いを繰り広げました。

八代市指定天然記念物の大楠には、銃弾が今も埋まっているんだって

長兄だった八郎の生き様が、弟たちに影響を与えたんだって

**今も残る 無数の傷跡**

両軍の激闘の痕跡は、今もあちこちに残ります。薩摩軍の本陣が置かれた宗寛寺の門には、薩摩軍兵士が無念さからつけた刀傷とされるもの。光寺には、まつられた仏像や位牌、部屋に戸板などに弾痕の跡が残ります。

**薩摩軍リーダーの身代わりに： 宮崎八郎、散る**

宮崎八郎は、現在の熊本県荒尾市出身で、日本で孫文を支援して辛亥革命を支えたとされる革命家、宮崎滔天の兄にあたります。熊本藩の藩校「時習館」で学んだのち上京し、自由民権運動のリーダーとして活躍しました。民権学校「植木学校」を設立し、西南戦争で協同隊を結成し薩摩軍に参加。明治10年4月6日、球磨川付近で薩摩軍小隊長長辺見十郎太とともに戦った時、「君が死ねば薩摩軍は総崩れとなる。俺に任せろ」と言い放ち、仁王立ちになって銃弾を受け、26歳の若い命を終えました。

**球磨川、赤く染まる**

政府軍の銃撃から逃げ球磨川に飛び込む薩摩軍兵士たちを、さらに狙う政府軍兵士。球磨川はたちまち、薩摩軍兵士の血で赤く染まったと伝えられます。ここで、薩摩軍に参加していた「熊本協同隊」の宮崎八郎が落命しました。



御船エリア

1877年4月12日

# 政府軍、御船を占拠

薩摩軍を追い詰めた政府軍は、ついに御船を占領しました。壮絶な最期をとげる薩摩の兵たち。政府軍は追討の手をゆるめません。

**自決を決意 永山弥一郎の誇り高き最期**

薩摩軍の大隊長永山弥一郎は負けを悟ると、御船にあった軒の家に入り込みました。老婆に家を売ってくれとお金を渡し、火を放ち自決します。それは、立派な家を建てることのできる金額。永山の誇りと武士の誇りが伝わる逸話です。

永山弥一郎も、とっても勇敢で優れた人物だったんだって

**落ちゆく薩摩軍と 追い詰める政府軍**

田原坂で敗れ敗退する薩摩軍と、八代から上陸してきた政府軍の戦いの場となったのが現在のの上益城郡御船町一帯です。激戦は2度。御船川に追い詰められた薩摩軍は逃げ場を失い、銃撃を浴び、壊滅に近い状態となりました。

御船町には、薩摩軍に味方して戦った熊本隊の墓が残っています！

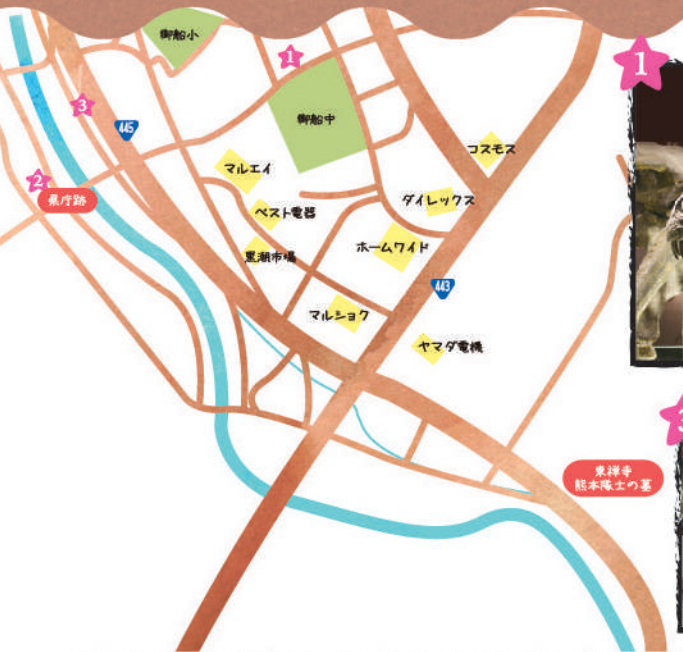
**御船へ避難 熊本県庁戦禍を逃れ**

2月19日、戦禍を避けて熊本県庁が御船町に移転。公立御船小学校が庁舎にあてられました。市中を公立御船小学校が庁舎にあてられました。市中を守ると偽りやって来た佐々友房ら熊本隊が土族を守るため御船職員が逃げ出し、御船の県庁は集めたため御船職員が逃げ出しました。わずか2日間で終わりました。



**宮崎を目指す薩摩軍 日向往還へ**

日向往還は、江戸時代、延岡と熊本城下を結んだ商人の道です。大名行列が通った街道と違う庶民の道として、宿場町として栄えた現在のの上益城郡山都町馬見原など、今も往還沿いのあちこちに江戸時代の面影を残しています。御船が政府軍に占拠された後、西郷隆盛は日向往還を通り、現在の上益城郡山都町浜町へと向かいました。



**御船町 恐竜博物館**

御船町は日本有数の恐竜化石産出量を誇ります。  
 熊本県上益城郡御船町御船 995-6  
 ☎ 096-282-4051  
 開 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)



**御船 街なかギャラリー**

県内で最古の部類の大型町屋を昔ながらの面影を残したまま改築し、ワークショップやミニコンサート会場等の活動の場としてご利用頂いています。  
 熊本県上益城郡御船町御船 794  
 ☎ 096-202-5113 ☎ 9:00 ~ 17:00



**ギャラリーレストラン・ゆう和**

揚げたてのピロシキやじっくり煮込んだボルシチが自慢のロシア料理店。ギャラリーの展示物を眺めながらゆっくりした時間をどうぞ。ゲストハウスも併設。  
 熊本県上益城郡御船町濁川 49-2 ☎ 096-282-0428  
 開 11:30 ~ 14:00 / 17:00 ~ 21:00 夜は要予約 ※不定休



**松浜軒**

邸名の由来は、「築山のすぐ後ろが八代海で、浜の松風の音も楽しめたこと」から。別名「浜の茶屋」とも呼ばれ長い間親しまれてきました。四季折々の花が咲き誇り、特に5月の肥後花菖蒲が有名です。  
 熊本県八代市北の丸町 3-15  
 ☎ 0965-33-0171  
 開 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)



花菖蒲がとってもキレイ



**春光寺**

西南戦争で戦場となったこの地には、今も当時の爪痕が残っています。俳句などの句碑が多く残っており、句碑寺としても有名。梅雨の時期は、苔のむした境内をたくさんの紫陽花が彩ります。  
 熊本県八代市古籠町 971 ☎ 0965-32-5557

## 東禅寺熊本隊士の墓

東禅寺は南北朝時代創建という上益城郡では最古とされるお寺です。ここには、旧熊本藩士らが結成し薩摩軍に参加して戦った熊本隊の兵士の墓があります。政府軍と御船で戦い、御船川で戦死しました。



熊本県上益城郡御船町辺田見 848 TEL 096-282-2518

## 熊本県庁跡

薩摩軍の熊本城攻撃が始まる直前、戦火を避けて熊本県庁が御船町に避難しましたが、土族が続々と集まり始めたため、わずか2日間で閉鎖されました。現在は、道路沿いに木製の標が立てられています。



熊本県上益城郡御船町御船 795-5

## 宮崎八郎戦没ノ碑

現在の荒尾市出身の自由民権運動活動家だった宮崎八郎は、協同隊を結成して薩摩軍に参加。八代から上陸した政府軍との戦いを繰り広げ、萩原堤で戦死しました。碑は球磨川萩原堤にあります。



熊本県八代市萩原町 1-9

## 若宮官軍墓地

1950年、八代市の都市計画に伴い横手政府軍墓地の埋葬者とともにこの地に合祀されました。約660柱が眠っています。明治の文豪・田山花袋の父親も政府軍として戦い戦死しており、ここに葬られています。



熊本県八代市塩屋町 10-10



# 矢部にて軍議

あきらめない薩摩軍。日向往還を通り矢部（現在の山都町）に入り、軍議を開きます。

**再** 挙を決し 矢部に集結

熊本を脱した西郷隆盛をはじめ、これまでの戦いで残った約3000の薩摩軍兵士が矢部（現・山都町）に集結。桐野利秋を指揮官に本営を現在の通潤酒造に構え、軍議を開きました。

鹿児島や宮崎を押さえて 戦況を挽回しようとして いたらしいよ

この軍議は、「浜町軍議」とも呼ばれているんだって

**隊** を再編し 本拠地を人吉へ

矢部での軍議で薩摩軍は、人吉まで撤退し、そこで鹿児島と宮崎を背後にして再起を図ることを決めます。そのため、3隊に分かれて矢部の隊もその後を追って人吉へ向かいました。

# 今も残る、薩摩軍軍議の部屋

日向往還を通り、矢部（現山都町）の浜町に入った薩摩軍が本営を置いたのが、現在もある通潤酒造です。通潤酒造は、明和7（1770）年創業という老舗の日本酒蔵元。寛政4（1792）年に建てられた蔵のほか、薩摩軍が軍議を開き、西郷隆盛が宿泊したという座敷も残されています。

# 会津藩士と阿蘇

南阿蘇村の濁川一帯も、政府軍と薩摩軍が激戦を繰り広げたところ。ここで戦死した政府軍の中に、鬼官兵衛と呼ばれた佐川官兵衛がいました。もと会津藩家老の佐川は、戊辰戦争で賊軍として、当時政府軍だった薩摩軍と戦った人物。西南戦争が始まると旧会津藩士を率い、東京警視隊の副指揮長として阿蘇まで進軍。戊辰の恨みを晴らすべく、立場が逆となったかつての敵と戦い、壮絶な最期を遂げました。官兵衛戦死の地は、現在西南の役公園となっています。



# しばし憩う、いで湯と朝霧の町

# 雅な文化と美しい自然 相良氏の城下町、人吉

人吉は、大名・相良氏が治めた土地。戦国時代に敗れた大名はもちろん、江戸時代、徳川幕府によって改易させられた大名も多い中、700年もの長い間、一つの土地を治め続けたのは珍しい存在。同じく鎌倉時代から明治維新まで鹿児島を治めた島津氏との共通点の一つです。山々と球磨川がもたらす自然の恵みは豊かで石高も多く、それゆえに、米を原料とする球磨焼酎の産地としても知られ、華やかな文化も花開きました。



**平** 家も隠れた 山の中を 西郷、人吉へ

矢部（現・山都町）を出発した西郷隆盛は、人吉を避けるため、平家落人の里としても知られる奥深い九州山地の中を通り、7日間かけて難所を越え、人吉にたどり着きました。

**の** どかな山野に しばしの安らぎ

薩摩軍は、人吉にある永国寺を本営としました。西郷は武家屋敷を宿泊所とし、しばし休息の時間を過ごします。鹿児島島の子から好んでいた釣りや狩りのほか、球磨川周辺を散策し、人吉名物・球磨焼酎も楽しんで伝わります。

西郷さんが最後に 過ごせた心休まる時間。 温泉も入ったかな。



西郷さんも癒された人吉で 私も癒されたらいい

薩摩軍の本陣があったという 永国寺。幽霊の掛け軸が伝わっていることから「幽霊寺」の異名で知られています。

人吉球磨地域「相良700年が生んだ保守と進取の文化」のストーリーは日本文化遺産に認定されています。



## 人吉温泉（人吉観光案内所）

球磨川に沿っておよそ80もの種類豊富な源泉が湧き出る人吉温泉。やわらかい泉質で高い美肌効果を持ち、別名「美人の湯」とも呼ばれています。

☎ 熊本県人吉市中青井町（JR人吉駅構内） ☎ 0966-22-2411 ☎ 9:00～17:00



▲ 国宝 青井阿蘇神社

## 文化財めぐり（人吉観光案内所）

人吉は、鎌倉から江戸時代の終わりまでの約700年間、相良氏という武家が支配してきました。川面に映る古城の石垣、町や里に点在する古社寺群や石塔。中世の文化が今でも息づく人吉を歩いてみよう。

☎ 熊本県人吉市中青井町（JR人吉駅構内） ☎ 0966-22-2411 ☎ 9:00～17:00

## 西南戦争官軍砲台跡

砲台跡から市内を見渡すことができます。約150年前、この場所から政府軍の大砲が城下や薩摩軍、人吉隊を攻撃しました。



熊本県人吉市城本町 987-4

## 人吉城跡

近隣に流れる川を堀代わりにし、はね出しのある石垣が特徴的なお城です。春は球磨川沿いの石垣に沿って桜が咲き、花見客で賑わいます。薩摩軍は人吉城周辺に本営を置きました。



熊本県人吉市鐘町 TEL 0966-22-2111

## 龍専寺

西南戦争において、1877年の4月中旬から下旬まで薩摩軍の病院があった場所。本堂にはその跡地として記念碑が建立されています。



熊本県上益城郡山都町馬見原 849 TEL 0967-83-0602

## 通潤酒造

矢部に撤退した西郷率いる薩摩軍が本営を構えた、250年以上の歴史を持つ通潤酒造。ここでは手作業にこだわった妥協のない酒造りが行われています。



熊本県上益城郡山都町浜町 54 TEL 0967-72-1177



## Cuisine 駱駝

南阿蘇の雄大な景色の中で、箸でも食べられる創作フレンチをのんびり楽しめる店です。

☎ 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陰 3972-2 ☎ 0967-67-4567 ☎ 11:30～15:00 (LO 14:00) 火・水曜定休

## カフェ ティッペル

カフェでは手作りのバウムクーヘンを楽しみながら、ドイツから直輸入した雑貨やおもちゃをお楽しみ頂けます。大人から子供まで楽しめる物がたくさん！自分へのご褒美やプレゼントにもおすすめです。

☎ 熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陰 4635 ☎ 0967-67-3736 ☎ 10:00～17:00 (水曜定休)





# 西郷、解隊を告げ、鹿児島へ



**人吉を追われ、宮崎へ**

薩摩軍精鋭の一人、村田新八は、西郷が人吉を脱した後も隊を率いて人吉で政府軍と戦いますが、政府軍に抵抗しますが、7月下旬に総崩れとなり、都城も政府軍に占拠されました。

**宮崎の地もあとに、鹿児島へ**

村田新八や桐野利秋らは、都城から宮崎、美々津、延岡へ退却。8月15日、和州郡における西南戦争最後の激戦で大敗します。西郷は、村田や桐野、辺見、別府晋介ら薩摩軍精鋭に守られ、鹿児島へと帰りました。

どんな気持ちで故郷の地を踏んだんだろう。切ないね...

## 政府軍総攻撃前夜、「最後の宴」

「これが最後の夜になる」。政府軍は総攻撃の前日、薩摩軍に対し「翌24日に総攻撃する、今の内に降伏を」と最後の通告を突きつけます。薩摩軍はその夜、備蓄していた食料を取り出し、宴会を開きました。楽器を奏で、語り、笑い、最後の夜はにぎやかに続きました。

「ごめんになったもんし！」  
ついに、西郷の首が…

翌24日、政府軍の総攻撃に、西郷が被弾。兵士らも次々に倒れる中、西郷は別府晋介にこう言います。「晋どん、もう、こらでよか」。別府は「ごめんになったもんし」と叫び西郷の首をはね、部下たちも次々と自決していきました。今も鹿児島市街地と錦江湾、桜島を望む風光明媚な城山。西郷や幹部たちが命を終えた日、桜島はどんな姿を見せていたのでしょうか。

**こころで、よか内戦の終焉**

9月1日、薩摩軍は鹿児島市内の城山を占拠しますが、24日になり、ついに政府軍が城山に総攻撃をかけます。薩摩軍兵士が次々と倒れる中、西郷隆盛も自刃。ここに、約7か月にわたった日本最後の内戦は終わりました。



### 城山

標高107m、600種以上の植物が自生するこの山は、遊歩道の散歩や、鹿児島市街地の情景を楽しむことができます。西南戦争終焉の地となったため、それらにまつわる史跡が数多く残されています。



鹿児島県鹿児島市城山町

### 西郷隆盛洞窟

1877年9月24日午前4時、城山に立てこもる僅か300名余りの薩摩軍に対し、政府軍は総攻撃を開始。死を決した西郷隆盛は、私学校幹部達と洞窟を後にしました。洞窟で過ごした5日間、一人の英雄はここで何を思ったのでしょうか。



鹿児島県鹿児島市城山町

### 西郷隆盛終焉の地

政府軍最後の総攻撃の日、腰に流れ弾を受けた西郷隆盛は別府晋介の介錯を受けこの地で満49歳の生涯を終えました。同じ地で幹部達も自刃したとされています。城山の麓には「南州翁終焉之地」と刻まれた石碑が建てられています。



鹿児島県鹿児島市城山町

### 桜島

鹿児島のシンボルとして県内外から注目されている桜島は、北岳・南岳の2つの主峰から成る複合火山です。そこには農作物や温泉、美しい景観など火山のもたらす多くの恵みがあり、約4600人が桜島とともに生きています。



鹿児島県鹿児島市

# 西南戦争男前図鑑

## 「命もらさず、名もらさず」

もっと生きていたら、どんな日本を見られたのかな。



### 東野 孝之丞

民謡「田原坂」に出てくる“美少年”のモデルとされる人物で、薩摩軍に従軍したのは15歳。15歳と言えば、今ならまだ中学生。そんな子どもが命をかけて戦ったなんて…!

### ゆかりの地

東野孝之丞の墓 (熊本市北区楠木町萩迫)



母には、墓の上で死めぬのは男子の恥と教えられました。



### 宮崎 八郎

荒尾出身の自由民権運動家。この人も、信念に生きてた人。八郎も生きていたら、歴史に残ることを成し遂げていたのかも。八郎の死後、恋人だった女性は、八郎が死んだ地を見ようと球磨川のほとりをさまよいて歩いたんだって…

### ゆかりの地

宮崎兄弟の生家／宮崎兄弟資料館 (荒尾市)



荒尾市宮崎兄弟資料館所蔵

国際赤十字の活動を見たのは1870年のパリ万博でした。



### 佐野 常民

旧佐賀藩士、元老院議長、伯爵博愛社の設立がいったん却下されてもあきらめなかったところがカッコイイ。今や世界にも活動の場を広げる日本赤十字社の礎をつくった人なんだ。

### ゆかりの地

正念寺 (玉東町木葉／負傷兵が運ばれた寺)



犬が好きで、狩りにもよく連れて行きもした。



### 西郷 隆盛

旧薩摩藩士、元・明治政府参謀および陸軍大将、薩摩軍盟主。情に厚い。太り過ぎを気にしていたとか、釣りや狩りが好きだったとか、そんな人間味あふれるところはカッコイイ。「理想の上司」に選ばれそうな部下思いなところに惚れちゃいます。

### ゆかりの地

西郷隆盛終焉の地 (鹿児島市城山／石碑あり)  
西郷隆盛銅像 (鹿児島市城山)



元は愛憎。わが人生に、悔いはありません。

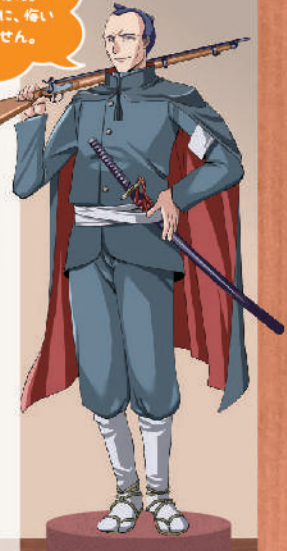


### 篠原 国幹

旧薩摩藩士、元・明治政府陸軍少将および近衛長官、薩摩軍一番隊長。銃弾にひるまず、赤いマントを翻して味方を鼓舞した姿が目につく。あくまでも西郷を慕い、西郷とともに生きて生き様もカッコイイ! その死に西郷が大粒の涙を流した話にも、泣けちゃう。

### ゆかりの地

篠原国幹戦死の地 (吉次峠／石碑あり)



苦しい戦いでしたが、清正公にまえられました。



### 谷 干城

熊本鎮台司令官(西南戦争時)、のちに陸軍中将、農商務大臣。約2か月近い籠城を耐えた! 政府軍の応援が来るまでとはいえ、部下とその家族たちの命を預かるという決死の覚悟があったはず。土佐出身で坂本龍馬とも交流したって。

### ゆかりの地

谷干城銅像 (熊本市・高橋公園)  
西南の役籠城将校婦女子避難所跡 (熊本城／石碑あり)







◎熊本県 山都町の、  
**山都ロール**



◎福岡県 門司区の、  
**河豚最中**

◎熊本県 玉名市の、  
**肥後銘菓 田原坂**



◎熊本県 熊本市の、  
**くまモン  
プリントクッキー**

◎熊本県 南阿蘇村の、  
**苺のバスケット**



◎熊本県 八代市の、  
**晚白柚ゼリー**



**恋するスイーツ**

- 「① 銘菓田原坂・菓舗菊水堂 熊本県玉名市高瀬524-4」
- 「② くまモンプリントクッキー・パティスリークオーレ 熊本県熊本市中央区新町2丁目7-1 マリアマンション1階」
- 「③ 苺のバスケット・お菓子の森くぎの 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陰434-1」
- 「④ 晚白柚ゼリー・お菓子の彦一本舗 駅前本店 熊本県八代市旭中央通1-1」
- 「⑤ ふくれ菓子・FUKU+RE 鹿児島県鹿児島市名山町2-1」

- 「⑥ 武者がえし・お菓子の香梅 熊本県熊本市中央区白山1丁目6-31」
- 「⑦ 白熊・天文館むじやき 鹿児島県鹿児島市千日町5-8」
- 「⑧ 生菓子、和菓子・開懐世利六菓匠（酒かすてら・天明堂）（花おぐら・立山）（最中・いしはら）（ふる里・岩本）（どらやき・かずさ屋）（そば薯蕷、生菓子・梅園）」
- 「⑨ 山都ロール・イノウエ菓子店 熊本県上益城郡山都町浜町180」
- 「⑩ 河豚最中・梅園 福岡県北九州市門司区柳町2丁目2-1」



◎熊本県 川尻の、  
**和菓子・生菓子**



◎鹿児島県 鹿児島市の、  
**白熊**

◎熊本県 熊本市の、  
**武者がえし**



◎鹿児島県 鹿児島市の、  
**ふくれ菓子**







静かに、滾る。<sup>たぎ</sup>

150年前、志をもって  
戦った人たちがいた。  
熱い気持ちにあこがれて、  
旅に出た。  
静謐のうちに、  
語りかける声がある。  
熱き血潮はその胸にありや、と。

志士よ。  
潰れても、思いは残る。  
だから、  
私もまた歩いていこう。  
心のうちに、滾るものある限り。

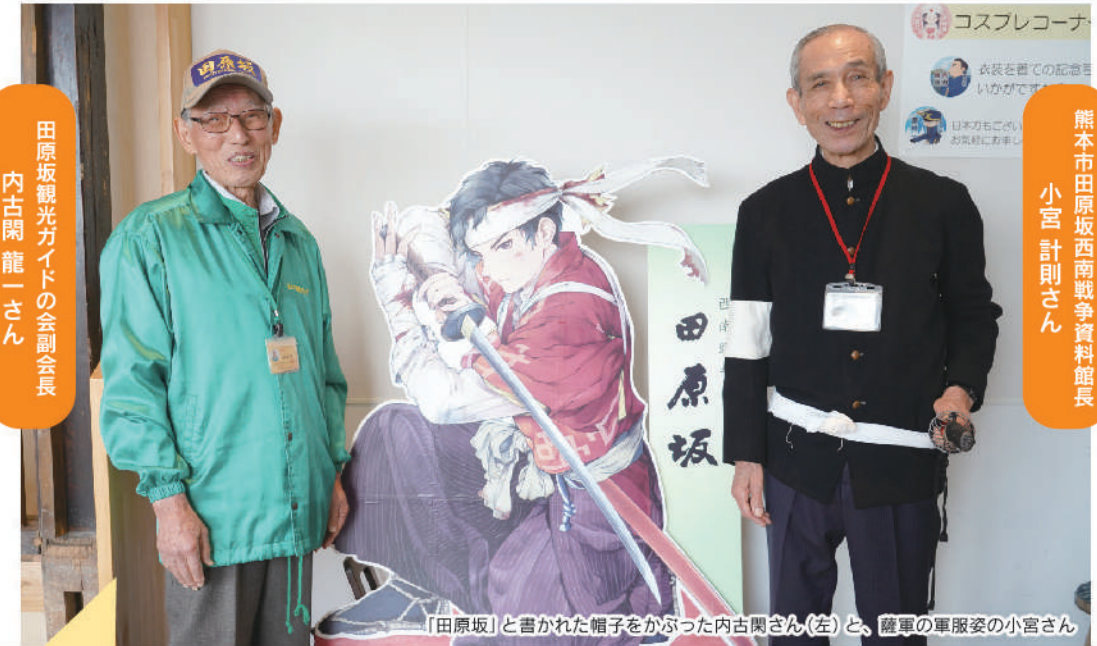


## 熊本市田原坂西南戦争資料館 ガイド案内

もっと深く、  
西南戦争を知る

熊本市田原坂西南戦争資料館では、西南戦争の歴史や数々のエピソードをもっと知っていただけるよう、ボランティアガイドが案内をしています。

田原坂観光ガイドの会副会長  
内古閑龍一さん



熊本市田原坂西南戦争資料館長  
小宮計則さん

「田原坂」と書かれた帽子をかぶった内古閑さん(左)と、薩軍の軍服姿の小宮さん

ガイドは資料館の展示物の解説や、近辺の史跡の案内をしています。バスガイドや先生をしていた人など11人おり、中には英語での案内ができる人もいます。ガイドを希望する方は資料館に申し込んでください。希望があれば近くの観光案内もできますよ。ガイド員も募集中です。研修もしますので、

歴史好きな人をお待ちしています。

また、資料館にはコスプレコーナーがあり、薩軍や政府軍の軍服、当時の看護師の白衣などを着ることができて、人気ですよ。戦争の歴史を知って、平和について考えるきっかけになればと思っています。気軽に足を運んでみてください。

### 要予約 1週間前までに電話にてお申し込みください

申し込み TEL 096-272-4982  
(熊本市田原坂西南戦争資料館)

料金 基本 2,000円  
コースなど条件によります。

所要時間 90分以内 [基本のコース]

対応時間 原則 9:00 ~ 16:00  
(ご相談に応じます)





恋する  
西南戦争  
美少年をおいかけて。

日本最後の内戦  
武士の最後の生き様を旅する

「鹿児島エリア」「福岡エリア」「熊本市エリア」  
「県北エリア（玉名・南関）」「田原坂エリア」「八代エリア」  
「御船エリア」「山都・阿蘇エリア」「人吉エリア」「宮崎・鹿児島エリア」